(6)

発達障害

適切な診断 と治療

社会性の発達の未熟

life

訴えて日中は自分の部 校に行かなくなりまし 生です。昨年秋から学 屋に閉じこもってい 始終頭痛や腹痛を

相談です。中学2年 も嫁もしっかりと叱ら ないから余計悪くなっ つけられません。息子 で怒鳴ったりして手が らよいのでしょうか。 も心配です。どうした ており来年の高校受験 ご心配です

ょっと注意すると大声 ません。最近は私がち の危機状態になってし でご心配を抱えること よいのか、何も言わな ります。登校を促して 家族全員のご心配にな に行くことが日常です になり、まさに、 全員がそれぞれの見方 から、不登校状態はご い方がよいのか、 子どもは元気で学校

71歳女性で て、外出もほとんどし

学校、家庭、友人

関係など多様な ストレスの原因

過剰なストレス

個人のストレス

不安、恐怖、焦燥

態にあることです。

適応の失敗

頭痛

耐性を超える

夫婦の長女の不登校で

同居している息子

Q

不登校

問題対処の回避へ

ーベイ カウンセリング 家族の理解と

適切な対応

療・研究センター長 桃井眞里子発達医学診

きたいのは、子どもは す。ですから、大きな 探し出したり、それを **症状で表現されること** 不安を抱えると、体の ことがまだまだ未熟で 目分の問題の解決法を |葉で表現したりする 最初にご理解いただ るのです。 う朝には症状が強くな 校へ行かなきゃ」と思 ますが、その症状が不 頭痛や腹痛だったりし いろあります。通常よ 安を余計増幅させ、「学 があるのです。それが 不登校の背景はいろ っぱい、という精神状 ている現状維持が精い のんきそうに見えて どもに生じたり、発達 り不安を感じやすい子 も、実は、閉じこもっ 共通することは、昼間 ることもありますが、 障害が隠れていたりす

究センター長

センター長桃井眞、発達医学診療・研

第2、4木曜日掲載

ても大切です

腹痛 などの 身体症状 子どもの回復力を支援 受診することです。 僚に対応できる医師を をすることを促し、子 は子どもを追い込まず 掛けは禁物です。まず の」などという不安、焦 け」「受験はどうする ともの心身の問題の診 家庭内で規則的な生活 燥感をあおるような声 がんばれ」「学校に行 まず、かかりつけ医 ですから一般的には

健康の不安や疑問について、読者 の皆さんの質問を募集します。症状 や経過をなるべく詳しく、その人の 年齢、性別も書いてください。投稿者

ともに成長を見守る余 裕ある家族の姿勢がと

回復力を信じて医師と

用しますが、子どもの

などの薬物も短期間使 必要に応じて抗不安薬 いただけるはずです。 な医療機関に紹介して にご相談されれば適切

性別を記入し、〒320=8686 下野 新聞社くらし文化部「健康 110 番」係へ。住所不要。FAX (028 ・625・1185) 、メール (platina@sh の住所、名前(ペンネーム可)、年齢、imotsuke.co.jp) でも受け付けます。